

物語理解・記憶に及ぼす筋書き作成と挿絵の役割

佐藤 公代

(教育心理学研究室)

(平成3年4月25日受理)

I 問題と目的

佐藤公代(1990)の結論から、次のことが言える。

- ① 実験Ⅰでは大学生を対象に、「百姓の足、坊さんの足」という物語を素材として実験を行った。文章の再生や記憶問題の内容については、明らかに自ら筋書きを作成する群の再生率が高く、筋書き作成が文章の再生や記銘に効果的である。理解、予測、評価、登場人物のイメージ、視覚的形象には内容の容易な物語文であったため、筋書き作成の影響はない。
- ② 実験Ⅱでは、大学生を対象に、「ちょっと寄り道」の一節を素材として実験を行った。文章の再生や記憶問題、理解、応用について、困難度のない文章には、自らの筋書き作成が文章の再生や記銘、理解、応用にも効果的である。
- ③ 実験Ⅲでは、実験ⅠとⅡとの比較から、内容の容易な物語文の場合は、文章の再生と記銘にのみ、困難な論説文の場合は、文章の再生と記銘、理解、応用に自らの筋書き作成の効果があらわれている。

今回の実験は、児童を対象にして、筋書きの作成と挿絵が、どのような効果をもたらすかを検討するものである。

II 方 法

(1) 目 的

児童を対象にして、物語文の筋書きを自ら作成した場合、出来合いの筋書きを用いた場合、筋書きを用いない場合の3条件に、挿絵の有無を関連させて、文章の再生、記憶(筆記、選択)、理解(筆記、選択)、主題把握、登場人物のイメージ評定、創造性にどのような違いが見られるかを比較研究する。

(2) 仮 説

- ① 文章の再生、記憶、理解、主題把握問題は、Ⅵ<Ⅴ<Ⅳ<Ⅲ<Ⅱ<Ⅰの順に、成績が良くなるだろう。
- ② 登場人物のイメージは、筋書きの有無や挿絵の有無によって、違いが出てくるだろう。
- ③ 創造問題は、挿絵の有無には影響されず、筋書きの有無によって、違いが出てくるだろう。

(3) 方法

1) 実験期間：1990年11月上旬～12月中旬

2) 被験者：E大学教育学部附属小学校（3年生…96人，4年生…102人，5年生…108人）計306人。

3) 実験材料：事前実験として、「標準読書力診断テスト」（3年生にはB1型，4，5年生にはC型）の問題のうち，奇数番号の問題を取り出し，問題数と時間を半分にしたものを利用する。奇数番号の問題を取り出した結果，3年生では，語の認知（その1）22問（4分），文の理解9問（4分），節の理解17問（7分），語の認知（その2）9問（2.5分），漢字の読み22問（2.5分）のテストになった。また，4，5年生では，速読テスト15問（3.5分），読解テスト12問（8分），読字テスト25問（3.5分），単語テスト26問（3.5分）のテストになった。事後実験には，物語として「青どうのライオン」（瀬尾七重，大阪書籍）を用いた。被験者の小学生がまだ読んだことのないものを選択し，文章の長さの関係から，内容に差しつかえないように短くした。

問題の内容を以下に示す。

1. 筆記式問題：記憶問題（3問），理解問題（3問），主題把握問題（1問），創造問題（3問）
2. 選択式問題：記憶問題（3問），理解問題（3問）
3. イメージテスト（3問）
4. 文章再生問題
5. 感想
6. 物語を読んだ経験があるかのチェック問題

付表1～4に問題を示す。

筆記式問題をやってから選択式問題を行った。

4) 手続き：事前実験として、「読書力診断テスト」の結果から，有無差がないように6群に分ける。事後実験では，授業の関係から45分とした。

5) 条件群

- I群：材料文に挿絵があり，自ら筋書きを作成する群
- II群：材料文に挿絵はなく，自ら筋書きを作成する群
- III群：材料文に挿絵があり，出来合いの筋書きを利用する群
- IV群：材料文に挿絵はなく，出来合いの筋書きを利用する群
- V群：統制群（材料文に挿絵があり，筋書きを利用しない群）
- VI群：統制群（材料文に挿絵はなく，筋書きを利用しない群）

6) 結果の処理方法

① 文章再生問題

この物語は15段落に分かれており，1～15段落をそれぞれ1～15項目とし，項目に反応していれば1点とし，15点満点で採点する。それぞれの項目に反応しているかどうか判定するために，Table 1のような基準を定める。

② 記憶・理解問題

正答1点，誤答，無答0点で3点満点である。（筆記式問題の②だけ，0.5点を加え，中間点とする）

Table 1 各項目の基準

1 段落ー町の広場に、いかめしい顔のライオンの像があった。
2 段落ーライオンの像は、とても冷たかった。
3 段落ーライオンの像には、願いごとをかなえる不思議な力があつた。
4 段落ー人々は、欲ばつた願いをライオンの像にずっとかなえてもらつていた。
5 段落ーライオンの像をかわいそうと思つた男の子があつた。
6 段落ー男の子は、ライオンの像にもうふをかけたたりこすつたりしてあつたためあげた。
7 段落ーどこからか重い声が聞こえた。
8 段落ー男の子は、ただライオンの像をあつたためたかつただけだつた。
9 段落ーライオンの像の心の告白
10 段落ーライオンの像は、男の子のあつたかい心に触れ、もうふにしがついた。
11 段落ーライオンの像の顔は、うれしそうになり、目も冷たくなつた。
12 段落ーライオンの像の顔は、男の子を家まで送つた。
13 段落ーライオンの像は、あつたかくなつていた。
14 段落ー次の日、ライオンの像があつたかくなつていて、人々は驚いた。
15 段落ーライオンの像にうれしそうなのほほえみがあることに人々は気がつかなかつた。

③ 主題把握問題

群別に正答した人数を求めらる。

④ イメージテンス

5段階評定した6つの尺度を各尺度別に1, 2, 3, 4, 5とし、群別にどの得点に何人反応しているかを求めらる。

⑤ 創造問題

書かれた内容を分類し、その人数、%を求め、群別の特徴をみる。

⑥ 感想

書かれた内容により、A：自分に振り返っている。B：希望を述べている。C：A, B以外の自分の意見を述べている。D：物語の内容と類似していたり評価している。E：無解答の5つに分類し、その人数%を求め、群別の特徴をみる。

III 結果と考察

Table 2 に読書力偏差値の平均を示す。

<Table 2>

	I	II	III	IV	V	VI
3年生	58.9	60.0	59.4	59.2	58.3	58.1
4年生	61.5	61.6	61.2	61.2	61.5	60.7
5年生	61.1	61.1	61.5	61.1	61.4	61.4

Table 2 よりどの学年も有意差がなく等質である。

Fig. 1 に文章再生問題の平均を示す。

Fig. 1 から4年生に $N < V < VI < III < II < I$ の順序性が見られ、0.1%水準で有意差がある。(I-III, IV, V, VI $P < 0.05$, II-IV, V, VI $P < 0.05$) 筋書きの有無の3条件で比べると、3, 5年生で出来合いの筋書きを利用する条件、4年生で自ら筋書きを作成する条

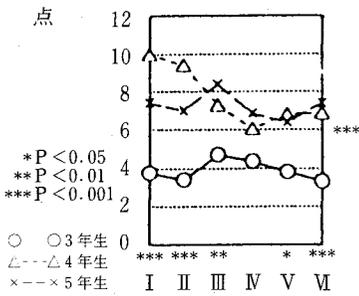


Fig. 1 文章再生の平均

件が最も良く、挿絵の有無では、3学年とも挿絵のある条件が良い。

Fig. 2, 3, 4に3, 4, 5年生における各条件ごとの段落別人数を示す。

Fig. 2から、6段落で5%水準で有意差が見られる。
 ($\chi^2 = 14.32$, I-V $P < 0.01$, I-VI $P < 0.01$, I-VI $P < 0.05$) これは男の子がライオンの像をあたためるといふ物語の中心になる段落である。

Fig. 3から、1%水準で有意差があるのは1, 5,

8段落、0.1水準では7段落、

5%水準では6段落である。1段落は導入であり、

III < VI < IV < V < II < Iの順で、自ら筋書きを作成する条件が最も良い。5, 7,

8段落は、それぞれ、IV < V < III = VI < II = I, IV < V < III = VI < V < II < I,

IV = V = VI < III < II < I, IV = V = VI < III < II < I,

の順で、自ら筋書きを作成した条件が良い。6段落はIV群の成績が悪かったため

に有意差が見られたのだろう。

Fig. 4から、5%水準で4, 10, 11, 12, 13段落

に有意差が見られる。4, 12段落はそれぞれV < II < I < IV < VI < III,

V < I < II = VI < III = IVの順で、出来合いの筋書きを利用する

条件がよい。10, 11, 13段落はそれぞれV = VI < I = IV < III < II,

V = VI < IV < I < II = III, VI < V < III < I = IV < IIの順で、筋書き

作成の影響がある。

Fig. 5に筆記式記憶問題の平均を示す。

Fig. 5から、3年生で

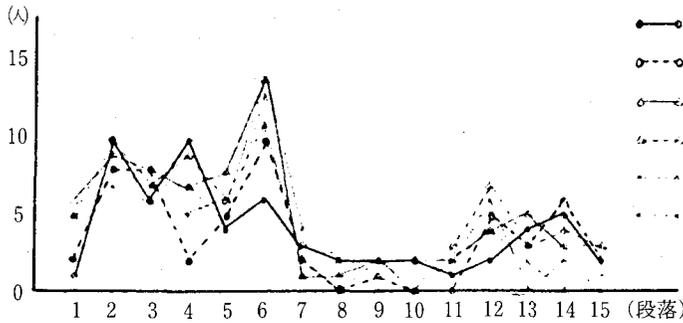


Fig. 2 3年生における段落別人数

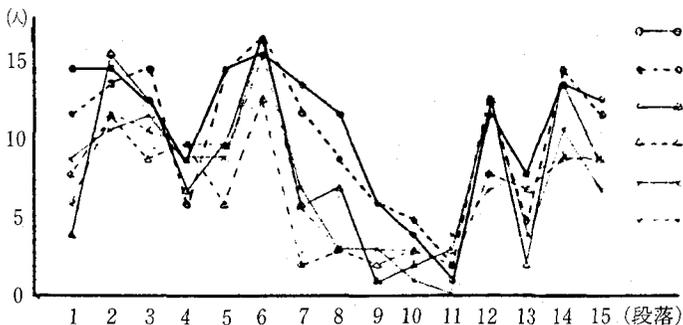


Fig. 3 4年生における段落別人数

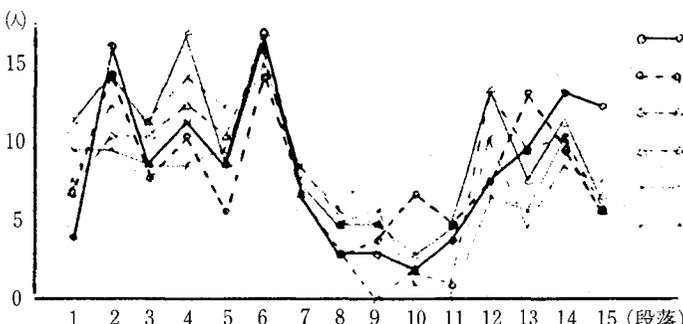


Fig. 4 5年生における段落別人数

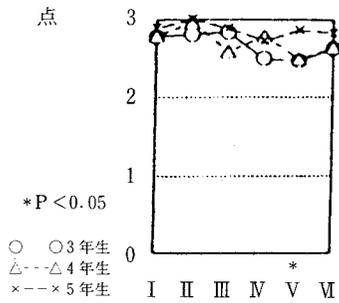


Fig. 5 記憶問題（筆記）の平均

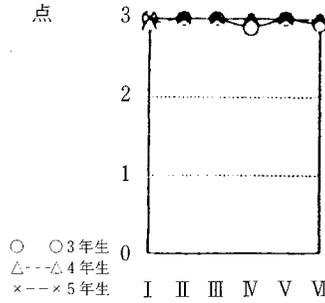


Fig. 6 記憶問題（選択）の平均

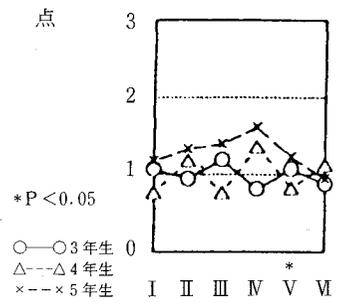


Fig. 7 理解問題（筆記）の平均

は、 $V < N < M < I < II < III$ の順で、挿絵のある条件の方が良い。4年生では $V < III < M < I = N < II$ で、筋書きの有無では、5%水準で有意差が見られる。挿絵の有無では、挿絵のない条件の方が良くなっている。5年生では $N < M < V < I = III < II$ の順で、挿絵のある条件の方が良い。

Fig. 6 に選択式の記憶問題の平均を示す。

Fig. 6 から、3年生では $N < M < I = II = III = V$ の順で、挿絵のある条件の方が良い。4、5年生は問題が簡単だったため差はない。

Fig. 7 に筆記式の理解問題の平均を示す。

Fig. 7 から、3年生では $N < M < II < I = V < III$ の順で、挿絵のある条件の方が良い。4年生では $I = III < V < M < II < N$ の順で、挿絵のない条件の方が良い。5年生では $M < I < V < II < III < N$ の順で、挿絵のある条件の方が良い。

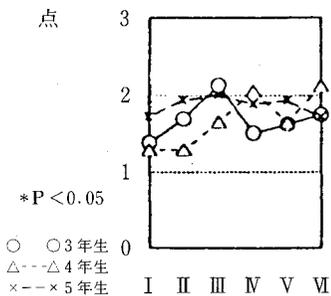


Fig. 8 理解問題（選択）の平均

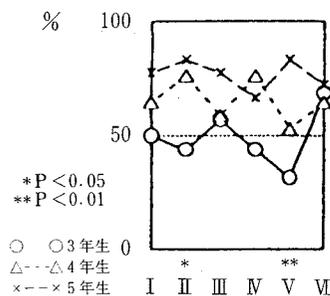


Fig. 9 主題把握問題の正答率

Fig. 8 に選択式の理解問題の平均を示す。

Fig. 8 から、3年生では $I < N < V < II < M < III$ の順で、挿絵のある条件が良い。4年生では5%水準で有意差が見られ、 $(II - VI, P < 0.05)$ $I = II < III = V < IV < M$ の順で、挿絵のない条件の方が良い。5年生では $I = M < N < II = V < III$ の順で、挿絵のある条件の方が良い。

Fig. 9 に主題把握問題の平均を示す。

Fig. 9 から、3年生では $V < II = N < I < III < M$ の順である。3年生には難しい物語だったので、出来合いの筋書きによって読み取ったのであろう。4年生では $V < III < I = M < II = N$ の順で、挿絵のない条件の方が良い。5年生では $N < M < I = III = II = V$ の順で、挿絵のある条件の方が良い。

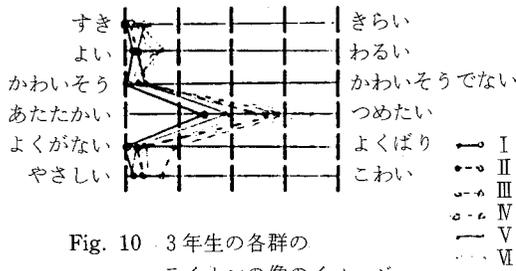


Fig. 10 3年生の各群の
ライオンの像のイメージ

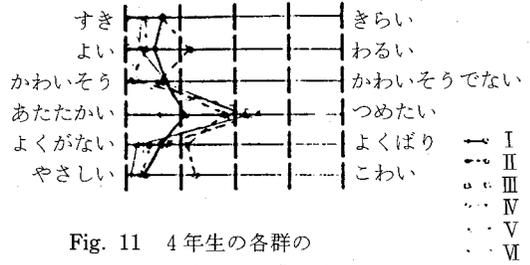


Fig. 11 4年生の各群の
ライオンの像のイメージ

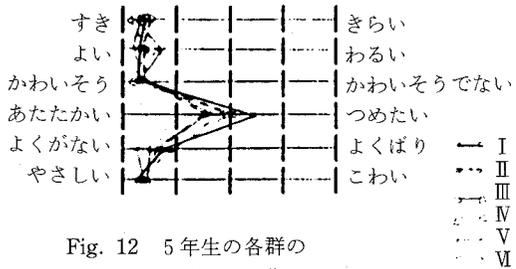


Fig. 12 5年生の各群の
ライオンの像のイメージ

以上より、仮説①の順序性については、4年生の文章再生にのみ見られ、他は支持されない。

Fig. 10, 11, 12 にライオンの像のイメージを示す。

Fig. 10 から、3年生では、挿絵のない条件が、ある条件よりも「つめたい」と感じ、他の尺度では、挿絵よりも筋書きの影響を受けているようである。

Fig. 11 から、4年生では、「すき-きらい」「やさしい-こわい」の尺度に5%水準で、「よい-わるい」の項目に1%水準で有意差が見られる。

Fig. 12 より、5年生では、挿絵のある条件が、ない条件より「つめたい」「よくがない」

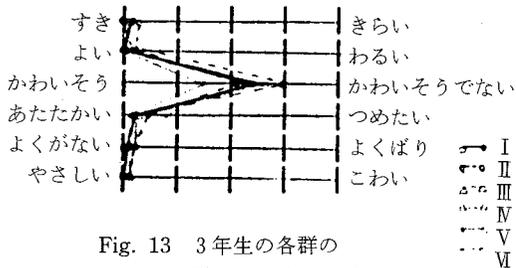


Fig. 13 3年生の各群の
男子のイメージ

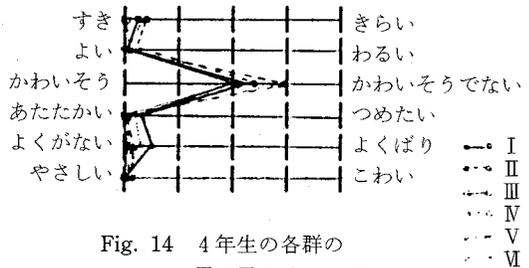


Fig. 14 4年生の各群の
男子のイメージ

と感じている。

Fig. 13, 14, 15 に男子のイメージを示す。

Fig. 13 より、3年生では自ら筋書きを作成する条件が、他の条件より「かわいそうでない」と感じている。

Fig. 14 より、4年生では、挿絵のある条件が、ない条件より「かわいそう」と感じている。

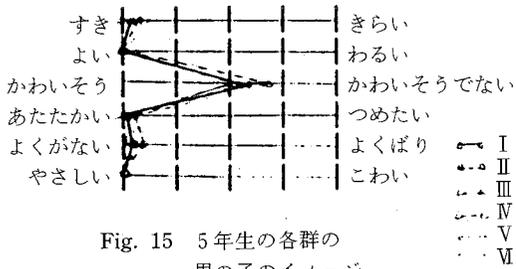


Fig. 15 5年生の各群の
男子のイメージ

Fig. 15 より、5年生では、筋書きも挿絵も影響を受けていない。

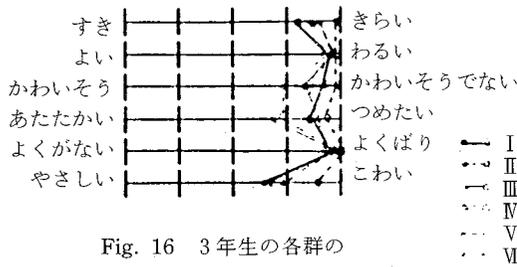


Fig. 16 3年生の各群の町の人のイメージ

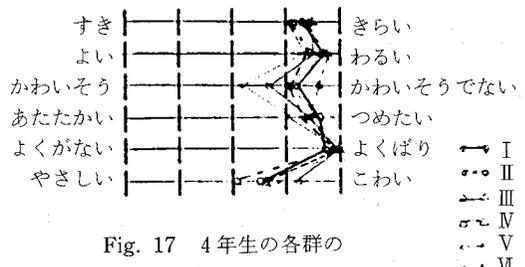


Fig. 17 4年生の各群の町の人のイメージ

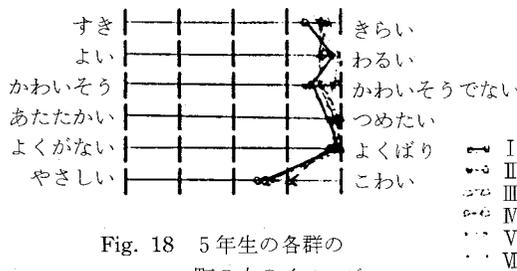


Fig. 18 5年生の各群の町の人のイメージ

Fig. 16, 17, 18 に町の人のイメージを示す。

Fig. 16 から、3年生では、自ら筋書きを作成する条件が、他の条件より「かわいそうでない」「つめたい」「こわい」と感じている。

Fig. 17 から、4年生では1%水準で「かわいそうーかわいそうでない」の尺度に、5%水準で「よくがないーよくばり」の尺度に有意差が見られる。自ら筋書きを作成する条件が、他の条件より「やさしい」と感じている。

Fig. 18 から、5年生では、自ら筋書きを作成する条件が「やさしい」と感じている。

以上より、登場人物のイメージは、挿絵の有無によって違っている尺度もあるが、筋書きの有無によって違っている尺度の方が多く、仮説②は支持される。

Table 3 (1)(2)(3)に3年生の創造問題の解答と人数を示す。

Table 3 (1) 創造問題（ライオンの像）の解答とその人数・3年生

()は%

	I	II	III	IV	V	VI
あたたかくなった。	8(50)	7(44)	3(19)	2(13)	4(25)	2(13)
いつまでもあたたかかった。	2(13)	2(13)	5(31)	3(19)		3(19)
あたたかくなって、願いをかなえた。	2(13)	2(13)	1(6)	2(13)	4(25)	4(25)
あたたかくなって、願いをかなえなくなった。	2(13)			2(13)		
あたたかくなったから、みんなに好かれた。			2(13)			
また、以前のように冷たくなった。				1(6)	2(13)	1(6)
よくばりな願いはかなえないで、いい願いをかなえた。	1(6)	2(13)	1(6)		2(13)	1(6)
男の子と友達になった。遊んだ。		1(6)		2(13)		1(6)
男の子に感謝した。		2(13)		1(6)		1(6)
男の子に願いをかなえてあげた。					1(6)	1(6)
また、男の子が来ないかなと思った。				1(6)	1(6)	
町の人にやさしくなしてほしいと思った。			1(6)			
町(町の人)を守った。	1(6)					1(6)
ずっと、空を見上げていた。			1(6)			
無 解 答			2(13)	2(13)	2(13)	1(6)

Table 3 (1)から、ライオンの像において、I, II, V群は6つ、III群は7つ、IV, VI群は8つの解答に分かれている。

Table 3 (2)から、男の子において、I群は7つ、II, IV, V群は6つ、III群は8つ、VI群は5つの解答に分かれている。

Table 3 (2) 創造問題 (男の子) の解答とその人数・3年生

()は%

	I	II	III	IV	V	VI
毎日 (時々), ライオンの所に行く。	6(38)	1(6)	1(6)	5(31)	3(19)	6(38)
毎日 (時々), ライオンをあたために行く。	1(6)	3(19)	2(13)	4(25)	4(25)	3(19)
ライオンがあたたかくなって, よかったと思った。	1(6)	3(19)	6(38)	1(6)		2(13)
ライオンを大事にする。	1(6)		1(6)	1(6)	1(6)	
ライオンを心配する。見守る。	2(13)	1(6)			2(13)	
ライオンと友達になった。遊んだ。	1(6)	5(31)	1(6)		1(6)	1(6)
とてもやさしい人になった。	4(25)	2(13)	2(13)		4(25)	
幸せになった。			1(6)	1(6)		1(6)
やさしい子だと言われるようになった。			1(6)			
悲しくなった。				1(6)		
無 解 答		1(6)	1(6)	3(19)	1(6)	3(19)

Table 3 (3) 創造問題 (町の人) の解答とその人数・3年生

()は%

	I	II	III	IV	V	VI
よくばりのままである。	3(19)	6(38)	3(19)	5(31)	9(56)	6(38)
よくばりをやめた。	6(38)	2(13)	5(31)	4(25)	3(19)	2(13)
どうしてライオンの像があたたかくなったか, 考えた。	1(6)	3(19)	2(13)		2(13)	2(13)
ライオンのほほえみにやっと, 気付いた。	1(6)		1(6)	1(6)		1(6)
ライオンを大事にする。	2(13)		2(13)	2(13)		
やさしい気持ちになった。		2(13)				1(6)
幸せになった。		1(6)			1(6)	1(6)
(願いがかなえられなくなったので,) がっかりしている。	2(13)	1(6)				
(願いがかなえられなくなったので,) ライオンをあてにしなくなった。		1(6)		1(6)		
ライオンがあたたかくなって, よかったと思った。				1(6)		
ライオンをながめるだけになった。	1(6)			1(6)		1(6)
このライオンを見習おうと思った。						1(6)
無 解 答			3(19)	1(6)	2(13)	1(6)

Table 3 (3)から, 町の人において, I, II, IV群は7つ, III群は5つ, V群は4つ, VI群は8つの解答に分かれている。

以上から, I, III群は20, II群は19, IV, VI群は21, V群は16の解答に分かれ, V群は他の群より創造的に答えていない。

Table 4 (1)(2)(3)に, 4年生の創造問題の解答と人数を示す。

Table 4 (1) 創造問題 (ライオンの像) の解答とその人数・4年生

()は%

	I	II	III	IV	V	VI
あたたかくなった。	2(12)	2(12)	9(53)	7(41)	6(35)	4(24)
いつまでもあたたかかった。	6(35)	10(59)	4(24)	3(18)	4(24)	7(41)
あたたかくなって, 願いをかなえた。	2(12)	1(6)	2(12)	1(6)	2(12)	1(6)
あたたかくなって, 願いをかなえなくなった。	1(6)					1(6)
あたたかくなったから, みんなに好かれた。			1(6)	2(12)		
また, 以前のように冷たくなった。		2(12)				1(6)
あたたかい時や冷たい時がある。	1(6)					
よくばりな願いはかなえないで, いい願いをかなえた。	3(18)			3(18)	1(6)	1(6)
町の人にやさしくなってほしいと思った。			1(6)			1(6)
町 (町の人) を守った。		1(6)				
ずっと, 町にいる。	2(12)	1(6)				
願いをかなえなくなったので, 町の人にほっとかれる。					1(6)	
無 解 答				1(6)	3(18)	1(6)

Table 4 (2) 創造問題（男の子）の解答とその人数・4年生

()は%

	I	II	III	IV	V	VI
毎日（時々）、ライオンの所に行く。	3(18)	4(24)	2(12)	1(6)	3(18)	1(6)
毎日（時々）、ライオンをあたために行く。	4(24)	2(12)	5(29)	5(29)	2(12)	4(24)
ライオンがあたたかくなった、よかったと思った。		2(12)	3(18)	3(18)		1(6)
ライオンを大事にする。	1(6)		1(6)	1(6)	2(12)	
ライオンを心配する。見守る。	2(12)	2(12)			1(6)	1(6)
ライオンと友達になった。遊んだ。	3(18)	2(12)		2(12)	1(6)	1(6)
とてもやさしい人になった。	1(6)	4(24)	2(12)	2(12)	2(12)	5(29)
幸せになった。				1(6)		2(12)
やさしい子だと言われるようになった。			1(6)			
願いごとをかなえてもらった。	1(6)					
ライオンの気持ちを人々に伝えた。				1(6)		
よくばった人の願いはかなえないようにライオンに言った。		1(6)				
ライオンを心配しなくなった。					1(6)	
ふつうどおりに暮らしている。	1(6)					
お母さんにこのことを話している。						1(6)
無 解 答	1(6)		3(18)	1(6)	5(29)	1(6)

Table 4 (3) 創造問題（町の人）の解答とその人数・4年生

()は%

	I	II	III	IV	V	VI
よくばりのままである。	1(6)	4(24)	5(29)	4(24)	2(12)	5(29)
よくばりをやめた。	7(41)	5(29)	4(24)	5(29)	5(29)	7(41)
どうしてライオンの像があたたかくなったか、考えた。	1(6)	1(6)	3(18)	1(6)		2(12)
ライオンのほほえみにやっと、気付いた。	3(18)					
ライオンを大事にする。		2(12)	1(6)	1(6)		
やさしい気持ちになった。	2(12)	2(12)	1(6)	2(12)	1(6)	1(6)
(願いがかなえられなくなったので、)がっかりしている。	1(6)					1(6)
(願いがかなえられなくなったので、)ライオンをあてにしなくなった。	1(6)	1(6)	1(6)		1(6)	1(6)
ライオンがあたたかくなって、よかったと思った。	1(6)			1(6)		
ライオンを遊ぶ。		1(6)		1(6)		
このライオンには見向きもしない。					1(6)	
自分たちがいけないことに気付いた。		1(6)				
無 解 答			2(12)	2(12)	7(41)	

Table 4 (1)から、ライオンの像において、I、VI群は7つ、II群は6つ、III、IV、V群は5つの解答に分かれている。

Table 4 (2)から、男の子において、I、IV、VI群は8つ、II、V群は7つ、III群は6つの解答に分かれている。

Table 4 (3)から、町の人において、I、II群は8つ、III、VI群は6つ、IV群は7つ、V群は5つの解答に分かれている。

以上から、I群は23、II、VI群は21、III、V群は17、IV群は20の解答に分かれている。III、V群は他の群より創造的に答えていないが、挿絵のある影響を受けているようである。I群は自ら筋書きを作成したので、創造的に答えられたのかもしれない。

Table 5 (1)(2)(3)に、5年生の創造問題の解答と人数を示す。

Table 5 (1)から、ライオンの像において、I、VI群は7つ、II、III、V群は6つ、IV群は9つの解答に分かれている。

Table 5 (2)から、男の子において、I群は7つ、II、V群は8つ、III、IV、VI群は6つの

Table 5 (1) 創造問題(ライオンの像)の解答とその人数・5年生

()は%

	I	II	III	IV	V	VI
あたたかくなった。	3(17)	4(22)	7(39)	4(22)	7(39)	1(6)
いつまでもあたたかかった。	3(17)	7(39)	4(22)	4(22)	4(22)	6(35)
あたたかくなって、願いをかなえた。	4(22)	2(11)	4(22)	1(6)	2(11)	2(11)
あたたかくなって、願いをかなえなくなった。		1(6)	1(6)		3(17)	1(6)
あたたかくなったから、みんなに好かれた。	2(11)			1(6)		
また、以前のように冷たくなった。	3(17)				2(17)	
あたたかい時や冷たい時がある。		1(6)				
よくばりな願いはかなえないで、いい願いをかなえた。	1(6)	2(11)	1(6)	2(11)	1(6)	2(11)
男の子に感謝した。	1(6)		1(6)			
男の子に願いをかなえてあげた。				1(6)		
また、男の子が来ないかなあと思った。				1(6)		
町(町の人)を守った。				1(6)		
ずっと、町にいる。						1(6)
みんなが乗ってくれるのを願っていた。						1(6)
夜は歩きまわる。				1(6)		
無 解 答	1(6)	1(6)		2(11)		3(17)

Table 5 (2) 創造問題(男の子)の解答とその人数・5年生

()は%

	I	II	III	IV	V	VI
毎日(時々)、ライオンの所に行く。	3(17)	5(28)	1(6)	3(17)	3(17)	7(39)
毎日(時々)、ライオンをあたたために行く。	6(33)		5(28)	5(28)	4(22)	3(17)
ライオンがあたたかくなった、よかったと思った。	2(11)	4(22)	3(17)		1(6)	
ライオンを大事にする。	1(6)	1(6)				1(6)
ライオンを心配する。見守る。	2(11)	2(11)	2(11)		2(11)	
ライオンと友達になった。遊んだ。	2(11)	1(6)		2(11)	3(17)	2(11)
とてもやさしい人になった。	1(6)	2(11)	4(22)	3(17)	1(6)	
幸せになった。				1(6)		1(6)
みんなのためになることを願った。				1(6)		1(6)
ライオンの気持ちを人々に伝えた。		1(6)			1(6)	
かわらない。			1(6)			
引越していく。					1(6)	
ライオンのところにあらわれなくなった。		1(6)				
無 解 答	1(6)	1(6)	2(11)	3(17)	2(11)	3(17)

Table 5 (3) 創造問題(町の人)の解答とその人数・5年生

()は%

	I	II	III	IV	V	VI
よくばりのままである。	7(39)	5(28)	5(28)	7(39)	6(33)	5(28)
よくばりをやめた。	2(11)	5(28)	11(61)	8(44)	4(22)	4(22)
どうしてライオンの像があたたかくなったか、考えた。	2(11)	2(11)	1(6)		2(11)	1(6)
ライオンのほほえみにやっと、気付いた。		2(11)		1(6)	1(6)	
ずっと、ライオンのほほえみに気付かないままだった。	2(11)			1(6)		
ライオンを大事にする。	2(11)	3(17)			2(11)	
やさしい気持ちになった。	1(6)				1(6)	2(11)
幸せになった。						1(6)
(願いがかなえられなくなったので、)がっかりしている。					1(6)	
(願いがかなえられなくなったので、)ライオンをあてにしなくなった。	1(6)					
このライオンには見向きもしない。		1(6)			1(6)	
自分たちがいけないことに気付いた。	1(6)					2(11)
無 解 答			1(6)	1(6)		3(17)

解答に分かれている。

Table 5 (3)から、町の人において、I、V群は8つ、II、VI群は6つ、III群は3つ、IV群は4つの解答に分かれている。

以上から、I、V群は22、II群は20、III群は15、IV、VI群は19の解答に分かれ、出来合いの筋書きを利用する条件では創造的に答えられないのかもしれない。

以上より、3年生では順序性が見られないが、4年生では、挿絵のある条件が、5年生では出来合いの筋書きを利用する条件が、創造的に答えられず、仮説③は5年生に支持される。

Fig. 19, 20, 21 に各学年の感想における解答割合を示す。

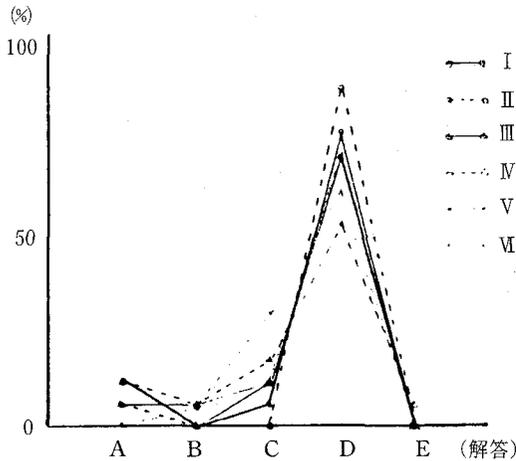


Fig. 19 3年生の感想における解答別割合

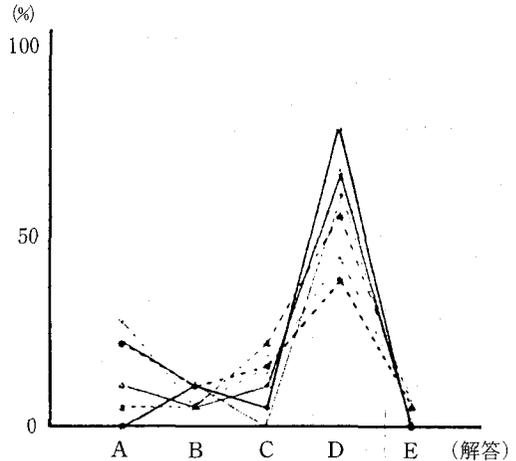


Fig. 20 4年生の感想における解答別割合

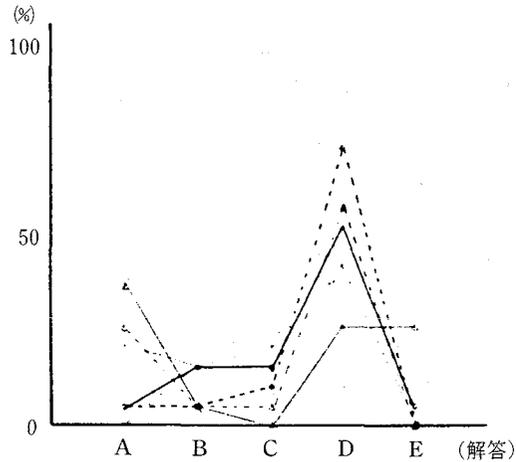


Fig. 21 5年生の感想における解答別割合

- (A : 自分に振り返っている
- B : 希望を述べている
- C : A・B以外の自分の意見を述べている
- D : 物語の内容と類似していたり、評価している
- E : 無解答

Fig. 19 から、A、B、Cの解答は、自分の意見を述べているので、その人数を合計すると、I群：3人、II群：1人、III、V群：4人、IV、VI群：6人となって、3年生では、自ら筋書きを作成する条件の方が、自分の意見を述べていない。

Fig. 20 から、A、B、Cの合計は、I群：3人、II、VI群：9人、III群：5人、IV、V群：6人となって、4年生では、挿絵のない条件の方が自分の意見を述べている。

Fig. 21 から、A、B、Cの合計は、I、IV、VI群：7人、II群：4人、III群：8人、V群：10人となって、5年生では、挿絵があって、筋書きを利用しない群の方が、自分の意見を述べている。

以上から、筋書き作成が、物語の内容にとらわれ過ぎて、かえって、筋書きなしで読む方が、自分の心に物語の内容が響いたのかもしれない。

付表5に感想例を示す。

IV 結 論

筋書き作成は、児童にとって、文章の再生、記憶において効果があり、挿絵は、ある方が良かったり、ない方が良かったりで、一概にはどちらともいえない。

参 考 文 献

佐藤公代 1991 筋書き作成による文章の記憶と理解に関する研究。愛媛大学教育学部紀要 教育科学 第37巻 71-87。

謝 辞

本研究の実験にあたり、愛媛大学教育学部学生、小松晶子さん、愛媛大学教育学部附属小学校校長、富田恒夫先生、副校長、山下雅司先生、及び諸先生、被験児の児童達（順不同）には多大な協力を得ましたことに対し、謝意を申し上げます。

付表 1

1. 筆記式問題

次の問題にこたえてください。

- ① 町の人の願いはどのようなものでしたか。
 - ② 男の子は、ライオンの像を見て、どのように思いましたか。
 - ③ 男の子は、ライオンの像にどのようなことをしましたか。
 - ④ ライオンの像は、どうして冷たかったのですか。
 - ⑤ ライオンは、よそよそしい目で男の子を見たとき、どのような気持ちでしたか。
 - ⑥ どうして、次の日、人々はライオンにうれしそうなのはほえみがただよっている顔に気がつかなかったのですか。
 - ⑦ ライオンの像は、どうしてあたたかくなったと思いますか。
 - ⑧ これから後、ライオンの像、男の子、町の人はどうなったと思いますか。
- ①～③を記憶問題、④～⑥を理解問題、⑦を主題把握問題、⑧を創造問題とする。

付表 2

2. 選択式問題

次の問題にこたえてください。

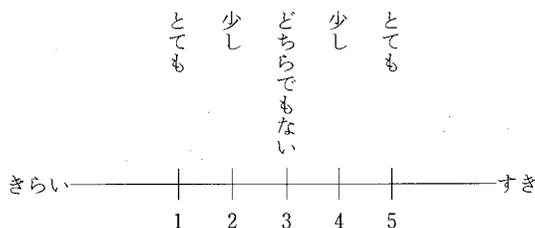
- ① 町の人の願いはどのようなものでしたか。
ア. 自分かってなよくばった願い。
イ. 人のことを思いやったやさしい願い。
ウ. つまらない願い。
- ② 男の子は、ライオンの像を見て、どのように思いましたか。
ア. いつも一頭でいるから、さみしそうだ。
イ. いつも町の人に囲まれて、楽しそうだ。
ウ. いつも冷たいから、かわいそうだ。

- ③ 男の子は、ライオンの像にどのようなことをしましたか。
 ア. せなかに乗って、願いごとをした。
 イ. もうふをかけたり、こすったりしてあたためてあげた。
 ウ. もうふできれいにみがいてあげた。
- ④ ライオンの像は、どうして冷たかったのですか。
 ア. 町の人の自分かってな願いごとをかなえるから。
 イ. 氷で作られていたから。
 ウ. 町の人のよくばった心がかかりしたから。
- ⑤ ライオンは、よそよそしい目で男の子を見たとき、どのような気持ちでしたか。
 ア. また、この男の子も、願いごとをかなえてほしくてきたのだなあ。
 イ. こんな男の子、はじめてみた。どうせかんげいなさ。
 ウ. こんな夜のおそくにうろついているなんて、おかしな子だなあ。
- ⑥ どうして、次の日、人々はライオンにうれしそうなのほほえみがただよっている顔に気がつかなかったのですか。
 ア. ライオンの顔が上を向いていて、見えなかった。
 イ. 自分の願いのことしか、考えていないから。
 ウ. ライオンの像があたたかくなっていたことでびっくりして、顔まで気づかなかった。
- ①～③を記憶問題、④～⑥を理解問題とする。

付表 3

3. イメージテスト

この物語に出てきた人について、5つのうち1つだけえらんで○をつけてください。
 ライオンの像、男の子、町の人の登場人物のイメージを「すぎーきらい」、「よいーわるい」、「かわいそうーかわいそうでない」、「あたたかいーつめたい」、「よくがないーよくばり」、「やさしいーこわい」の6つの尺度について、5段階評定する。



付表 4

4. 文章再生問題

この物語をできるだけくわしく思い出して、おぼえていることをすべて書いてください。

5. 感想

この物語の感想を書いてください。

6. 物語を読んだ経験があるかのチェック問題

この物語を読んだことがありましたか。(はい・いいえ)

付表 5

(感想例)

A: 自分に振り返っている

- ・この物語は、みんなにあてはまり、みんな、できるだけ、よくばりになるだけではなく、振り返って見なければならぬことを伝えている。
- ・わたしだったら、ライオンに願いばかりかなえてもらうけど、男の子はよくがなくて、とてもやさしい子だなと思った。
- ・こんなライオンがあったらいいなと思ったけど、自分勝手な心には、なりたくないな。
- ・ほくは、こんなにやさしい子にはなれないと思う。

B: 希望を述べている

- ・ライオンが、いつまでもあたたかい心と体をもっていたらいいな。
- ・これからは、町の人も、ライオンの気持ちがわかればいいな。

- もう少し、町の人があたたかい願いをしていたらよかったのに。
 - 町の人も、男の子のようにやさしい人だったらいいな。
- C：A・B以外の自分の意見を述べている
- ライオンは、なぜ、よくぼった人間のねがいごとをかなえてあげるのかな。
 - 男の子は、とてもやさしい子だと思う。ライオンに「よかったねー」と言いたくなった。
 - ライオンの像が、本当にあったら、会ってみたい。
 - ぼくも、このライオンの像に願いをきいてほしいです。
- D：物語の内容と類似していたり、評価している
- 男の子は、やさしいし、よくもない、いい子だと思った。
 - たいへんいい話で、感動した。
 - ライオンがあたたかくなって、よかったと思った。よくぼりな町の人とちがって、男の子はやさしいと思います。
 - 男の子のやさしい心に感動した。